

第四次会津若松市子ども読書活動推進計画の概要

～本はいつでもみんなのそばに 読書は心をはぐくむ宝物～

計画期間 令和8年度から令和12年度まで

1 第三次計画における成果

- 家庭における読書活動の推進(読み聞かせや家読に取り組む家庭の割合が増え、取組の時期も早まるなど読書活動の推進が図られました)
- バリアフリー図書の充実(マルチメディアデージー図書等の導入により、支援を必要とする子どもに対する読書環境の整備を図りました)
- 図書館との連携による学校図書館の環境整備と読書活動の推進(学校図書館支援員等と会津図書館との連携による読書環境の整備が進み、学校図書館を読書のきっかけや本の入手場所として選ぶ子どもの割合が増えました)
- 広報・啓発活動の充実(広報・啓発に取り組む園やその回数が増え、家庭に対し読書のよさを伝える活動が進みました)

2 国の第五次計画における基本的方針

全ての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう、次の点も考慮しながら社会全体で子どもの読書活動を推進する必要があります。

- 不読率の低減
- 多様な子どもたちの読書機会の確保
- デジタル社会に対応した読書環境の整備
- 子どもの視点に立った読書活動の推進

3 現状・課題と方向性

(1) 不読率の低減に向けた取組

学年が上がるにつれ本を読まない子どもの割合が増加し、特に高校生の不読率は高くなっており、その低減に向けた取組が必要です。

- 乳幼児期からの読み聞かせ等の促進
- 子どもの視点に立った読書活動の推進
- 学校種間の移行段階に着目した取組
- 発達段階に応じた切れ目のない読書活動の取組

(2) 多様な子どもの読書活動への支援や読書環境の整備・充実

誰もが読書に親しむことができるよう多様な子ども(日本語指導が必要な子どもや障がいのある子どもなど)への支援や環境整備が必要です。

- 一人ひとりに合った読書活動の推進
- 多様な子どもが楽しめる図書資料の充実と読書環境の整備

(3) 身近な大人や読書活動を支える人の理解と参画の促進

子どもが本を好きになるためには、子どもに関わる大人が読書環境の意義や重要性について理解し、読書活動へ参画することが必要です。

- 子どもの読書活動の意義や重要性についての広報・周知
- ボランティア人材・学校図書館ボランティアの養成と協働

(4) 子どもの視点に立った読書活動の推進

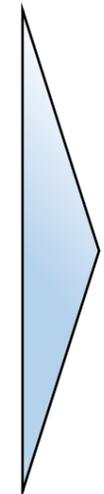
子どもが主体的に読書活動を行えるよう、子どもの意見聴取の機会を確保し、取組に反映させることが求められています。

- 図書館や学校等における子どもの視点に立った読書活動の推進

(5) デジタル社会に対応した読書の機会や環境の整備

社会のデジタル化を踏まえ、デジタルアーカイブなどデジタル資料の活用が求められています。

- 授業におけるデジタルアーカイブの活用
- 多様な子どもが楽しめる図書資料の充実と読書環境の整備



子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で重要な役割を果たすものです。

この計画は、本市の全ての子どもが読書の楽しさを実感し、生涯にわたって望ましい読書習慣を確立するために、読書活動推進に関する取組を総合的に進め、本に触れる機会や本を読むための環境をより一層充実するよう策定しました。

4 基本方針と主な取組

本市の全ての子どもが読書の楽しさを実感し、生涯にわたって望ましい読書習慣を確立するために、第三次計画を引き継ぎながら、次の3つの基本方針に基づき、園や学校、図書館等が家庭やボランティア、その他関係団体と連携・協力しながら読書活動を推進します。

| | 1 読書に親しむ機会の充実 | 2 読書環境の整備と充実 | 3 読書活動についての理解の促進 |
|------------------|--|--|---|
| 基本方針 | 読書の入口となる乳幼児期から、読み聞かせなどの家庭における読書活動への支援、小中学校期・高校期における読書イベント開催や子どもの意見を取り入れた企画展示など、家庭、園、学校、図書館等がそれぞれの役割を担いながら、発達段階に応じた切れ目のない読書活動を推進します。 | 家庭や園、図書館や学校図書館など子どもを取り巻く場所において、図書の充実や環境の整備に取り組むとともに、子どもの読書活動を支える人材の確保とネットワークづくりに努めます。 | さまざまな機会を捉えて子どもの読書活動の意義や重要性について広報・啓発を行い、理解促進に努めるとともに、より多くの機会に読書活動に参加できるよう各種媒体の活用や関係団体と連携した情報周知に努めます。 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業の実施 各種読み聞かせやおはなし会の開催 小中高生向け読書関連イベントの開催 園における絵本の貸出や行事への活用 授業におけるデジタルデータの活用 朝読活動や家読の充実に向けた取組 図書館見学や職場体験の実施・受入れ 学校図書館オリエンテーションの実施 | <ul style="list-style-type: none"> 図書資料の整備・充実 ブックリストの配付 子どもに親しまれる環境づくり 中高生対象アンケート掲示板等の設置やおためしYAコーナーの充実 学校図書館運営に関わる取組の推進 ユニバーサルブックや外国語の本のコーナーの充実 ボランティア養成講座の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 関係団体と連携した情報発信 ホームページやSNS等による情報発信 園やクラスだよりでの広報 |
| 主な数値目標(R6 ↓ R12) | <ul style="list-style-type: none"> 0歳からの絵本スタートの実施割合 72% → 80% 小中学生の不読率 (小学生) 1.6%(3カ年平均) → 1.4% (中学生) 10.7%(3カ年平均) → 8.0% | <ul style="list-style-type: none"> 会津図書館におけるバリアフリー図書の点数 79点 → 130点 読み聞かせ講座の受講者数(のべ) 199人 → 260人 学校図書館ボランティア養成講座の受講者数(のべ) 208人 → 275人 学校図書館ボランティアが参画している学校(課程)数 23校 → 30校 | <ul style="list-style-type: none"> おたよりによる読書活動啓発を1年間に4回以上実施した園の割合 73% → 80% |

5 計画の推進に向けて

① 関係機関・団体との連携・協働

学校、保育所・認定こども園・幼稚園、児童館、こどもクラブ、ボランティア団体、会津図書館、公民館、地域文庫、書店など子どもの読書に関わる機関や団体等、それぞれの特色を活かし、相互の情報共有を行いながら、連携し読書活動を推進します。また、地域で活躍する多くのボランティアとの協働により、持続性のある活動の推進を目指します。

② 体制と進行管理

市庁内各課で構成する会津若松市子ども読書活動推進連絡会において、情報共有を図りながら、計画の進捗状況の確認や事業内容や団体間の連携・協力等に協議し、効果的な推進を図ります。また、進捗状況や協議内容を会津図書館協議会へ報告し、意見を聴取しながら適正な進行管理に努めます。